

東日本大震災・被災地支援について

1-1. 被災地への武蔵野市の支援（平成23年12月31日現在）

(1) 人的支援

- ① 友好都市の岩手県遠野市に拠点を置き、遠野市災害対策本部の指揮下で岩手県沿岸部の被災地で活動

名称	出発日	帰還日	派遣人数	活動場所
第1次支援隊	3月23日（水）	3月27日（日）	6人	陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町
第2次支援隊	3月26日（土）	4月1日（金）	6人	陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町
第3次支援隊	3月31日（木）	4月6日（水）	6人	釜石市、大槌町、山田町
第4次支援隊	4月5日（火）	4月11日（月）	6人	大槌町

*第2次支援隊のうち1人は武蔵野生涯学習振興事業団職員

- ② 被災地の現状調査と今後の被災地支援のあり方を遠野市と協議するため、市長・防災課長などによる調査隊を派遣

名称	出発日	帰還日	派遣人数	活動場所
調査隊	4月14日（木）	4月16日（土）	4人	遠野市、釜石市、大槌町、山田町、陸前高田市、大船渡市、気仙沼市

- ③ 災害廃棄物の処理に関する東京都環境局による協力要請に応え、宮城県仙台市に職員（ごみ総合対策課2名・クリーンセンター1名）及び車両1台を派遣

名称	出発日	帰還日	派遣人数	活動場所
災害廃棄物処理隊	4月17日（日）	4月23日（土）	3人	宮城県仙台市

- ④ 東京都市長会の各市（多摩地域26市）と協力し、市職員を広域的・専門的支援のため被災地自治体へ派遣

名称	出発日	帰還日	派遣人数	活動場所
市長会大槌町支援隊	4月24日（日）	4月29日（金）	1人	岩手県大槌町
市長会釜石市支援隊	5月2日（月）	5月7日（土）	2人	岩手県釜石市
市長会釜石市支援隊	5月22日（日）	5月27日（金）	2人	岩手県釜石市
市長会浪江町支援隊	6月2日（木）	6月9日（木）	1人	福島県二本松市（浪江町）
市長会釜石市支援隊	6月12日（日）	6月18日（土）	1人	岩手県釜石市
市長会仙台市支援隊	7月4日（月）	7月11日（月）	1人	宮城県仙台市泉区
市長会釜石市支援隊	7月14日（木）	7月22日（金）	1人	岩手県釜石市
市長会いわき市支援隊	7月17日（日）	7月24日（日）	1人	福島県いわき市

- ⑤ 家庭訪問による在宅被災者健康調査等活動のため、東京都福祉保健局と合同して保健師を派遣

名称	出発日	帰還日	派遣人数	活動場所
在宅被災者訪問活動隊	7月8日（金）	7月13日（水）	1人	宮城県石巻市

- ⑥ 選挙管理事務補助に関する東京都選挙管理委員会による協力要請に応え、職員（選挙管理委員会事務局 1名）を派遣

名称	出発日	帰還日	派遣人数	活動場所
選挙管理事務支援隊	11月2日(水)	11月14日(月)	1人	宮城県気仙沼市

(2) 物的支援

① 市単独の支援

日時(到着)	形態	内容	数量	単位	搬送先			
3月15日(火)	物資協定	水缶(230コック付)	600	個	遠野市			
3月19日(土)	〃	ポリタンク(18ℓ)	500	個	〃			
3月22日(火)	〃	石油ストーブ	50	台	長岡市小国支所			
3月23日(水)	第1次支援隊	紙おむつ	3,480	枚	遠野市			
		粉ミルク	480	缶	〃			
3月26日(土)	第2次支援隊	ろうそく	136	本	〃			
		ヘッドライト	60	個	〃			
		懐中電灯	15	本	〃			
		電池式ランタン	6	個	〃			
		手動型多機能ライト	30	個	〃			
		単2乾電池	80	本	〃			
		単3乾電池	24	本	〃			
3月31日(木)	(社団)トラック協会多摩支部	生活用品セット(4人用)	100	セット	〃			
		イトーヨーカ堂物資調達協定→(社団)トラック協会多摩支部	男性用下着(上)L	150	着	〃		
4月5日(火)	イトーヨーカ堂物資調達協定→(社団)トラック協会多摩支部	男性用下着(上)M	150	着	〃			
		男性用下着(下)L	150	着	〃			
		男性用下着(下)M	150	着	〃			
		女性用下着(上)L	150	着	〃			
		女性用下着(上)M	150	着	〃			
		女性用下着(下)L	150	着	〃			
		女性用下着(下)M	150	着	〃			
		シャンプー(リンスイン)	170	本	〃			
		ひげそり	500	本	〃			
		石鹸	501	個	〃			
10月28日(金)	委託輸送(船便・自転車走行)	軽トラック(幌付き)	3	台	〃			
		12月20日(火)	委託輸送(トラック) ※「三陸文化復興プロジェクト」への協力寄贈	市民会館の図書	一般図書	10,000	冊	〃
				児童図書	6,800	冊	〃	
				書架	25	台	〃	

② 安曇野市との共同支援

日時(到着)	形態	内容	数量	単位	搬送先
3月15日(火)	共同	飲料水(ペット2ℓ)	4,224	本	遠野市
		灯油(タンクローリー)	3,000	ℓ	〃
		粉ミルク	400	缶	〃
		生理用品	54	個	〃
3月19日(土)	共同	水(1ℓ720本), 缶ジュース(30缶200ケース), 紅茶(0.5ℓ4800本), 緑茶(0.5ℓ2400本), 下着類(各種5720枚), 米95俵, 味噌, 紙おむつ42パック, 生理用品13パック, 粉ミルク14缶, 野菜等			〃

③ 武蔵野市民社会福祉協議会との共同事業(緊急救援物資公募・搬送)

募集日時	搬送日時	運搬形態	内容	数量	単位	搬送先
4月1日(金) ～ 4月3日(日)	4月5日(火)	市民ボランティア	単1乾電池	476	個	遠野市
			単2乾電池	505	個	〃
			食品用ラップ	3,027	本	〃
			台所用洗剤	1,286	個	〃
6月24日(金) ～ 26日(日)	6月27日(月)	(社団)トラック協会	夏を迎えるにあたり不足している物品(半袖シャツ・蚊取り線香・リボン式ハエ取り紙・クーラーボックス・保冷剤・500mlスポーツドリンク飲料・タオルケット)を市民に呼び掛けて募集。ダンボール110箱程度が集まり、現地への支援物資搬送について市が担った。			遠野市 大船渡市
11月26日(土) ～ 27日(日)	11月28日(月)	(社団)トラック協会	冬を迎えるにあたり不足している物品(防寒用インナーシャツ、使い捨てカイロ、毛布、ひざかけ)※全て新品・未開封。ダンボール22箱程度が集まった。			大船渡市
	11月28日(月)	SAVE IWATE	冬を迎えるにあたり不足している物品(雪かき用スコップ、灯油用ポリタンク、粉ミルク、アルミホイル、シャンプー、食器用洗剤)※全て新品・未開封。ダンボール44箱程度が集まった。 この他に、市備蓄品のお粥刊缶を提供した。			岩手県

④ 武蔵野市民社会福祉協議会、(社団)トラック協会、全国自転車問題自治体連絡協議会との共同事業

日時(到着)	運搬形態	内容	数量	単位	搬送先
5月12日(木)	(社団)トラック協会	自転車	75	台	大船渡市
7月15日(金)	全国自転車問題自治体連絡協議会	自転車	20	台	福島県相馬市

※ 5月12日(木)の支援は、岩手県大船渡市社会福祉協議会からの要請により武蔵野市民社会福祉協議会と武蔵野市が現地高校生の通学用の自転車を寄贈

(3) 義援金

① 市関連施設における義援金

5, 068万1, 086円(12月28日現在)

受付期間

平成23年3月14日(月)～平成24年3月26日(月)

募金箱設置場所

市役所市民課・生活福祉課・高齢者支援課・市民協働サロン(市民協働推進課)、各市政センター、各図書館、保健センター(健康課)、水道部、市民社協、総合体育館、市民会館、国際交流協会、児童館、市民文化会館、吉祥寺美術館、芸能劇場、武蔵野公会堂、吉祥寺シアター、スイングホール、松露庵、かたらいの道市民スペース、シルバー人材センター、0123吉祥寺、0123はらっぱ、各コミセン
※ 一部、上記受付期間と異なる施設あり

送付先

日本赤十字社

② 海外友好都市ルーマニアブラショフ市からの義援金

<ブラショフ市での義援活動>

ブラショフ市にある日本武蔵野センターが3月14日から、ブラショフ市役所の協力のもと「*Alături de Japonia*日本と共に」という東日本大震災支援キャンペーンを実施した。募金活動などを日本武蔵野センター学生有志が中心に行い、募金総額は約432,154円になりました(4月13日時点)。全額、武蔵野市に送金され、武蔵野市から被災地の後方支援を行っている友好都市岩手県遠野市に送金された。また、3月24日のブラショフ市議会にて、ブラショフ市の予算から5,000ユーロと、ブラショフ市議会議員27名の1ヶ月分の議員報酬が義援金として武蔵野市を通して遠野市へ送金された。

<チャリティコンサートの招聘>

6月3日にブラショフ県立図書館で開催される国際会議の閉会イベントで、日本支援のチャリティコンサートとして日本人アーティストが無償で招聘されて開催された。H22 吉祥寺音楽祭でグランプリに輝いた女性デュオ「ナツメグ」が出演し、当イベントでも募金活動が実施された。

<その他の海外友好都市からの支援>

武蔵野市は昭和61年から海外の6都市と国際交流を築き、東日本大震災直後から、これらの都市からお見舞いのメールが送信され、心温まる配慮を受けた。また、大韓民国忠州市からは、震災直後から市職員による募金活動が始まり、武蔵野市を通して友好都市の岩手県遠野市へ送金された。

1-2. 被災地への武蔵野市内各団体の支援（平成23年12月31日現在）

（1）武蔵野市民社会福祉協議会

① 人的支援

名称	期間等	派遣人数	活動場所
生活福祉資金貸付の 専門職員の現地派遣	4月10日（日）～16日（土）	1人	福島県いわき市
災害支援ボランティア 派遣募集ニーズ調査等	4月27日（水）～28日（木）	2人	岩手県大船渡市
災害支援ボランティア 派遣募集	5月中旬～6月中旬にかけて募集 5月31日（火）～7月1日（金）を 5期に分けて派遣	75人 各期15人	岩手県大船渡市
災害支援ボランティア 第二次派遣募集	7月19日（火）～22日（金） 7月26日（火）～29日（金）	21人	岩手県大船渡市

② 物的支援

期間等	名称	内容
3月31日（木）～ 4月30日（土）	公用車両の貸出	支援先である福島県と東京都間の派遣職員移動および物資の運搬のため、東京都社会福祉協議会へ車両（ノア トヨタ 8人乗り）1台を貸出
4月1日（金）～ 3日（日）	緊急支援物資の 募集（被災地への ピンポイント 支援）	遠野市からの要請により、不足している物品、乾電池・食用ラップ・台所用洗剤の三品目を市民に呼びかけての緊急募集を実施。武蔵野青年会議所による受付・手伝い、協力団体（声かけ）は「地域社協」「民生児童委員協議会」「赤十字奉仕団」「老人クラブ」「武蔵野青年会議所」等。集まった電池約1000個、食品用ラップ約3000本、台所用洗剤約1200本、合計で段ボール約100箱分を、市民の協力により遠野市まで輸送。
5月6日（金）～ 11日（火） 募集・回収 12日（水）搬送	岩手県大船渡市 へ自転車提供	被災により、JRなどの交通機関が不通となって、車を運転できない高校生（県立高田高校）などが移手段に困っており、大船渡市社会福祉協議会から自転車提供の依頼があった。市の交通対策課管理の自転車50台と市民社協から地域に呼びかけて集めた25台、合計75台の自転車を市民社協のワゴン車とトラック3台（トラック協会に委託）で分乗して搬送。
6月24日（金）～ 26日（日）	夏物の緊急支援 物資の募集（被災地への ピンポイント 支援）	遠野市・大船渡市からの要請により、夏を迎えるにあたり不足している物品、半袖シャツ・蚊取り線香・リボン式ハエ取り紙・クーラーボックス・保冷剤・500mlペットボトルスポーツドリンク飲料・タオルケットを市民に呼び掛けて募集、ダンボール110箱程度集まった。協力団体（声かけ）は「地域社協」「民生児童委員協議会」「赤十字奉仕団」「老人クラブ」等、武蔵境開発事務所には、4月に続き、物品の受付場所として協力いただいた。
11月26日（土）～ 27日（日）	冬物の緊急支援 物資の募集（被災地への ピンポイント 支援）	大船渡市・岩手県が要請している、冬を迎えるにあたり不足している物品、防寒用インナーシャツ、使い捨てカイロ、毛布、ひざかけ雪かき用スコップ、灯油用ポリタンク、粉ミルク、アルミホイル、シャンプー、食器用洗剤（※全て新品・未開封）を市民に呼び掛けて募集。「武蔵野市民社会福祉協議会」「西久保コミュニティセンター」「武蔵境開発事務所」を会場に、物品の募集受付を実施した。

③ 市内被災避難者への支援

- 4月21日（木）、大震災に伴い都営住宅に一時転居された方々への支援について都営役員との意見交換を実施。今後、アンケート調査を行って実態把握をして支援を行っていくことを確認。
- 緑町都営住宅アンケート調査を実施。緊急性を要する物品については、シルバー人材センターや地域社協等へ依頼。シルバー人材センターでは、都営自治会で対応できない物品や都営以外の避難世帯に対する支援について家具類の無償貸与等について、理事会が承認。
- 武蔵野市発行の「避難者サポートニュース」へアンケートを同封し、避難している方々のニーズ調査を実施。配布数は42通、返信15通（回収率35.7%）。内連絡先を記載していただいたのは5通で、個別に電話・訪問等による聞き取りを行い、対応している（外出付き添い、引越し手伝い、子どもの見守り、話し相手、物資ニーズ、住宅相談など）。
- 都営入居者に対するサロン（居場所の設置）の実施について、都営自治会と調整し、6月中旬に実施。

（2）社会福祉法人武蔵野

① 人的支援〔平成23年8月31日までの支援を記載〕

名称	期間等	派遣人数	活動場所
東京合同災害本部 第4次派遣	4月8日（金）～ 13日（水）	2人	気仙沼市・南三陸町の障害者支援機関などへの直接間接支援
東京合同災害本部 第13次派遣	5月12日（木）～ 18日（水）	2人	気仙沼市・南三陸町の障害者支援機関などへの直接間接支援
東京合同災害本部 第17次派遣	6月1日（水）～ 7日（火）	2人	気仙沼市・南三陸町の障害者支援機関などへの直接間接支援
東京合同災害本部 第21次派遣	6月21日（火）～ 27日（月）	2人	気仙沼市・南三陸町・平泉の障害者支援機関などへの直接間接支援
東京合同災害本部 第29次派遣	7月31日（日）～ 8月6日（土）	1人	気仙沼市・石巻市の障害者支援機関などへの直接間接支援
東京合同災害本部 第30次派遣	8月5日（金）～ 11日（木）	1人	気仙沼市・石巻市の障害者支援機関などへの直接間接支援
東京合同災害本部 第32次派遣	8月14日（日）～ 21日（日）	2人	気仙沼市・石巻市の障害者支援機関などへの直接間接支援
東京合同災害本部 第34次派遣	8月25日（木）～ 31日（水）	2人	気仙沼市・石巻市の障害者支援機関などへの直接間接支援

② 物的支援〔平成23年5月2日までの支援を記載〕

期間等	内容
4月1日（金）	宮城県仙台市「社会福祉法人つどいの家」を物資拠点としその地域の障害者向け。清拭用大型ウェットシート、飲料水、食品、ガスコンロ本体、衣類、電池など約30段ボール
4月8日（金）	宮城県気仙沼市「社会福祉法人洗心会 夢の森」を物資拠点として気仙沼南三陸地域の障害者や関係者向けに届けた。清拭用大型ウェットシート、飲料水、食品、衣類など約57段ボール分。被災地の支援活動に使う車両を1台を貸し出し、活動終了後寄贈。
5月2日（月）	宮城県気仙沼市「社会福祉法人洗心会 夢の森」を物資拠点として気仙沼南三陸地域の障害者や関係者向けに、飲料水4,476リットル、米270キロ、カップめんなど440食、LEDライト200本、使い捨て防塵マスク等36,440枚、タオル、軍手、スプレー式消毒薬など4トントラック8台分

③ 市内被災避難者への支援

○被災高齢者一名を 特別養護老人ホーム ゆとりえ で受け入れ

(3) 武蔵野市消防団

- ① 見舞金贈呈・人的支援(武蔵野市消防団として人的支援を検討するため、現地視察を行い遠野市消防団と意見交換)

名称	期間等	派遣人数	活動場所
消防団先遣隊	5月2日（月）～3日（火）	6人	岩手県遠野市・大槌町・釜石市

(4) 武蔵野赤十字病院

- ① 人的支援（医療救護班（DMAT）/医師・看護師・薬剤師等を派遣）

名称	期間等	派遣人数	主な活動場所
第1班	3月11日（金）～14日（月）	7人	岩手県立大船渡病院
第2班	3月12日（土）～15日（火）	9人	宮城県岩沼市役所
第3班	3月14日（月）～17日（木）	8人	岩手県立大船渡病院
第4班	3月16日（水）～19日（土）	7人	石巻赤十字病院
第5班	3月19日（土）～22日（火）	8人	福島県あづま総合運動場
第6班	3月23日（水）～26日（土）	8人	石巻赤十字病院
第7班	3月29日（火）～4月3日（日）	9人	岩手県釜石市
第8班	4月7日（木）～11日（月）	8人	岩手県釜石市
第9班	4月13日（水）～17日（日）	8人	岩手県釜石市
第10班	4月19日（火）～23日（土）	8人	岩手県釜石市
第11班	4月25日（月）～29日（金）	8人	岩手県釜石市
第12班	5月4日（水）～8日（日）	7人	岩手県釜石市
第13班	5月13日（金）～17日（火）	8人	岩手県釜石市
第14班	5月22日（日）～26日（木）	8人	岩手県釜石市
第15班	6月9日（木）～13日（月）	6人	岩手県釜石市
第16班	6月30日（木）～7月4日（月）	4人	福島県南相馬市

※このほか各被災地に対して医療コーディネーター（医師・調整員）、石巻日赤支援（内科医師・産婦人科医師・看護師・薬剤師）、こころのケア要員（臨床心理士）の派遣を実施。

<武蔵野赤十字病院HPより引用>

(5) 武蔵野市医師会

① 人的支援（医師・看護師・薬剤師等を派遣）〔平成23年6月28日までの支援を記載〕

名称	期間等	派遣人数	活動場所
武蔵野市医師会 災害医療チーム	3月29日（火）～31日（木）	4人	宮城県石巻旧北上川東地区
武蔵野市医師会 災害医療チーム	3月31日（木）～4月6日（水）	4人	宮城県石巻旧北上川東地区
武蔵野市医師会 災害医療チーム	4月29日（金）～5月2日（月）	7人	宮城県石巻旧北上川東地区
武蔵野赤十字病院 救護班	5月13日（金）～17日（火）	1人	岩手県釜石地区
武蔵野市医師会 災害医療チーム	5月17日（火）～20日（金）	4人	宮城県石巻旧北上川東地区
武蔵野赤十字病院 救護班	5月22日（日）～26日（木）	1人	岩手県釜石地区
武蔵野市医師会 災害医療チーム	5月26日（木）～29日（日）	5人	宮城県石巻旧北上川東地区
武蔵野市医師会 災害医療チーム	6月25日（土）～28日（火）	3人	宮城県石巻南地区

(6) 都理容生活衛生同業組合多摩府中北支部武蔵野地区

① 人的支援（理容師を派遣）〔平成23年4月19日までの支援を記載〕

名称	期間等	派遣人数	活動場所
都環境衛生組合派遣	4月18日（月）～19日（火）	2人	岩手県大槌町など

1-3. 友好都市における支援

武蔵野市が友好交流を行っている国内9市町村のうち、岩手県遠野市は市庁舎が全壊し、建物は使用不能となり余震が続くなか、岩手県沿岸地域の後方支援の拠点として、最前線で災害対応を実施してきた。武蔵野市では、他の友好都市8市町村に呼びかけ、現地が必要としている物資を遠野市へ送付してきた。これらの支援は遠野市だけでなく岩手県沿岸部への支援にもつながっている。

●友好都市9市町村による遠野市への支援状況（平成23年3月11日発災から3月30日までの支援）

富山県 南砺市	3月17日遠野市到着（支援物資の輸送） 『灯油4,000ℓのタンクローリー、500mlペットボトル飲料水12,000本、米菓40ケース、紙おむつ6箱、軍手7,000組、ティッシュ、ブルーシート90枚、単1乾電池100個、携帯照明60個、毛布18枚、大人紙おむつ1箱、タオル2箱、衣類（運行途中の給油状況が切迫しているため、ドラム缶燃料も搭載）』
長野県 安曇野市	3月15日遠野市到着（支援物資の輸送）『3,000ℓの灯油タンクローリー』 3月15日到着（武蔵野市との共同支援物資輸送 第1便） 『2ℓ飲料水ペットボトル4,224本、日用品（生理用品54個、粉ミルク400缶）』 3月19日到着（武蔵野市との共同支援物資輸送 第2便）『1ℓ水720本、缶ジュース30缶200ケース、紅茶0.5ℓ4800本、緑茶0.5ℓ2400本、下着類各種5,720枚、米95俵、味噌、紙おむつ42パック、生理用品13パック、粉ミルク14缶、野菜等』
長野県 川上村	3月21日遠野市到着 『2ℓ水ペットボトル6,000本、饅頭3,000個、肌かけ布団27枚』
千葉県 南房総市	3月17日遠野市到着『2ℓ飲料水ペットボトル1,800本、粉ミルク(850g)100缶、花300本、アクエリアス500ml192本』
新潟県 長岡市 小国支所	3月16日遠野市到着『米900kg、500ml水1,800本』 3月17日遠野市到着『粉ミルク、紙おむつ』 ※長岡市は3月16日より、14,000人の避難者を受入れ開始（食事提供あり）
広島県 大崎上島町	安曇野市を通じて10万円で飲料水等の購入、輸送依頼
山形県 酒田市	被災地からの避難者の受入れ開始（3月29日電話連絡あり） ※当初酒田共同火力被災もあり支援できず
鳥取県 岩美町	3月16日遠野市到着『2ℓ飲料水4,320本』
東京都 武蔵野市	3月15日遠野市到着『23ℓコック付水缶600個』 以降の武蔵野市支援内容はP63「(2) 物的支援」を参照

※武蔵野市交流事業課が把握しているものに限る

平成23年7月6日（水）・7日（木）に安曇野市にて、武蔵野市及び友好都市の首長が集結し「武蔵野市交流市町村協議会」が開催された。東日本大震災で、岩手県遠野市が重要な役割を担った岩手県沿岸の被災地の後方支援活動に対し、各友好都市が、いち早く物的・人的支援活動、義援金活動等を行い、国や県の支援とは別に、現地のニーズに応じた素早い支援を実現したことから、こうした支援の形を今後も活かすために、災害時の相互支援を明文化した「安曇野市サミット宣言」を採択した。

※ 宣言文は次ページのとおり。

武蔵野市交流市町村協議会 災害時相互支援について
(安曇野市サミット宣言)

(主旨)

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、国内観測史上最大のマグニチュード9.0の大地震による大津波などにより、2万3,000人を超える死者、行方不明者をもたらし、今なお8万人を超える人々が避難生活を送っている。

今回の震災で、武蔵野市交流市町村協議会（以下、「協議会」という。）の会員自治体の地域内では直接の犠牲者は出なかったが、岩手県遠野市は岩手県沿岸の被災地の後方支援という極めて重要な役割を担い、被災地の支援に大きく貢献している。

協議会会員の自治体は、遠野市の後方支援活動に対し、いち早く物的・人的支援活動、義捐金活動などを行い、国や県の支援とは別に、現地のニーズに応じた素早い支援を実現した。

こうした支援の形を今後も続く東日本大震災の支援・復興や、将来別の地域でも起こりうる災害に活かすため、ここに協議会を構成する10の自治体が、災害時における相互支援の仕組みを確認し、長年の友好交流が創り出した絆を大きな力として、相互に助け合い、支えあうことをここに宣言する。

(災害時相互支援の骨子)

- 1 災害時相互支援は、協議会会員10市町村が実情に応じた実施可能な方法と範囲で自主的に行う。
- 2 災害時相互支援は、会員自治体が被災した場合に限らず、他の被災した自治体を会員自治体が後方支援する場合も含むものとする。
- 3 災害時相互支援の種類は物的支援、人的支援、金銭的支援、その他支援要請に基づく支援とするが、事情によりこれらを直接行うことができない場合は、他の会員自治体を通じて間接的に行うものとする。

平成23年7月6日

武蔵野市交流市町村協議会

富山県 南砺市	長野県 安曇野市	長野県 川上村
千葉県 南房総市	岩手県 遠野市	新潟県 長岡市
広島県 大崎上島町	山形県 酒田市	鳥取県 岩美町
東京都 武蔵野市		